

ICOM

IP700

ハイブリッドIPトランシーバー

技術基準適合証明(工事設計認証)取得機種

LTE
IPトランシーバー

デュアルSIM対応

DCR
デジタル簡易無線

登録局・免許局両対応



IPトランシーバーとデジタル簡易無線がこの一台に。



業界初^{*}、ハイブリッドだから、 広くつながる、たしかにつながる。

携帯電話の通話エリアならどこでも通話エリアとなるIPトランシーバーと、デジタル簡易無線(登録局・免許局)が1台になりました。ワイドな通話エリアと万が一の通信手段の確保を両立できる、業界初^{*}のハイブリッドIPトランシーバーです。

※2020年3月現在、アイコム調べ。

HYBRID
LTE X DCR

LTEモード

IPトランシーバー

キャリアのLTE回線を経由して通信するため、端末の位置に関わらず、携帯電話の通話エリア内であればどこにいても通話できます。また、電話のような相互同時通話が可能です。



DCRモード

デジタル簡易無線^{*}

無線機同士で直接通信するため、ほかのインフラに依存せず、電波が届くかぎり(見通しのよい環境で数キロ程度)通話することができます。

3R(登録局)

かんたんな登録手続きを済ませるだけで使える、登録制度対応のデジタル簡易無線です。

3B(免許局)

免許手続きを経て利用できる、混信が少ない免許制度対応のデジタル簡易無線です。

※DCRモードを利用するには、電波法に従い登録手続き(3R)、免許手続き(3B)が必要です。

DUALモード

デュアルモード

IPトランシーバーとデジタル簡易無線、両方の受信/送信を同時に行なうことができます。



既存の連絡網をさらに拡張

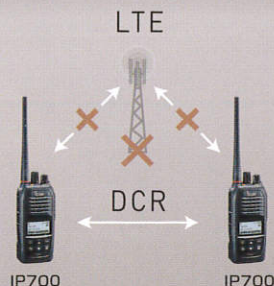


デジタル簡易無線機

IPトランシーバー

既存のデジタル簡易無線機による通信網を活かしながら、広域通信を可能にします。

キャリア回線不通時



IP700

IP700

携帯電話網の圏外や、LTE回線のトラブル時もデジタル簡易無線で連絡できます。

ハイブリッド IP トランシーバー

IP700

デュアルSIMに対応

au回線とNTTドコモ回線の2枚のSIMを同時に装着可能。本体操作だけで2回線を切り替えて使えます。両回線のSIMを装備しておくことで、万一回線トラブルにも対応できます。



SIMスロットを2つ装備し、本体で切り替え可能。

登録局・免許局に対応

デジタル簡易無線は、登録局(3R)と免許局(3B)いずれにも対応しています*。

※登録局と免許局を同時に送信・受信することはできません。

サブPTTスイッチを装備

メインPTTスイッチのほか、サブPTTスイッチを装備。LTEとDCRのそれぞれに独立したPTTスイッチが割り当てられるので、スムーズなデュアル運用が可能です。



便利なサイドキーを搭載

短/長押しでそれぞれ機能を割り当てられるサイドキーを2つ装備しました。特定の相手や呼び出し方法呼び出すワンタッチ機能、ユーザーコード切り替え、メッセージ選択、モニター機能を割り当てることができます。また、サブPTTスイッチにも同様の機能を割り当てることができます。



災害時の連絡手段に

Bluetooth®機能搭載

Bluetooth®機能を搭載しているので、ケーブルレスでの運用にも対応しています。

GPS 機能搭載 (LTEモード時のみ)

ポジショニングモニターソフトPM-IP500をインストールしたPC※1でIP700の位置を地図上に表示できます。また、アイコム動態管理サービス※2を利用することで、ブラウザで位置情報を確認することも可能です。

※1 別途、対応地図ソフトが必要。昭文社スーパーマップル・デジタル(15以降)全国版に対応。

※2 別途契約が必要。



PM-IP500による位置情報表示例。
(地図使用承認©昭文社第61G319号)

防塵・防水、タフボディ。

防塵・防水(IP67/IP57/IP54※1)仕様を実現。また、米国防務省調達基準MIL-STD810G※2に合致する堅牢さや環境耐性を備えているので、雨天など過酷な環境でも安心して使えます。



※1 バッテリーバック、アンテナ、保護カバーを正しく装着した状態で、試験用粉塵を1㎡あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機の内部に粉塵の浸入がないこと。また、水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能することです。また、一定の条件下における水滴や噴流、粉塵によっても無線機として機能することを表します。

※2 衝撃、振動、落下、低圧力など約20種類の試験を実施。

1500mWの大音量

一般的なデジタル簡易無線機の約2倍の音声出力を実現。大きく、明瞭な音声で騒音環境での通話をサポートします。



録音再生機能

受信した音声を録音し、聞き返すことができます。最大10件(または合計4分)まで保存されます。

緊急呼び出し機能

緊急呼び出しボタンをワンタッチするだけで、あらかじめ設定されている相手に警告音で緊急呼び出しすることができます。ボタンの押下以外にも、本体の傾き検知(マンダウン機能)、一定時間操作がないとき(Lone Worker機能)、一定以上の静止/動作状態を検出(静止/動作検出機能)での発報が可能です。

システム拡張が可能

RoIPゲートウェイE-PG4の導入により、通話エリアの拡張や、特定小電力無線機・電話など、既存の通信設備と連携することも可能です*。

※システムの拡張については、案件ごとに技術的・法的な検証や調整を行うため、異なる機器やサービスを組み合わせることや、導入できないこともあります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

●その他の機能・仕様*

【共通機能】

●バイブレーション機能 ●VOX機能 ●ノイズキャンセル機能 ●ポケットビーブ機能 ●Pベル機能、ロック機能 ●アドレス帳(販売店での設定が必要) など

【DCRモード専用機能】

●秘話機能 ●出力切り替え機能(5W/1W) ●各種スキャン機能 など

※DCRモード時の機能はファームアップにより、順次搭載予定。



大規模イベントの警備時に



インフラの工事現場に

主な定格

	IP700 (LTE)	IP700 (DCR)
周波数範囲	auの4G LTE NTTドコモのLTE	3R=TX:351.20000~351.38125 MHz (30ch), RX:351.16875~351.38125 MHz (35ch) 3B=TX:467.00000~467.40000 MHz (65ch), RX:467.00000~467.40000 MHz (65ch)
送信出力	+23dBm	5W/1W
受信感度	-95dBm以下 (QPSK)	-5.0dBμVemf以下 (BER=1%スタティック時), 0.0dBμVemf 以下 (BER=3%フェージング時)
音声出力	内部SP: 1500mW typ. (負荷8Ω, 10%歪時) / 外部SP: 1000mW typ. (負荷8Ω, 10%歪時)	
使用温度範囲	-20℃~+60℃	
電源電圧	7.4V	
消費電流	送信時1.6A (5W出力時)、受信時520mA (内部SP、最大音量時)、待受時300mA	
寸法	140.5(H)×61.7(W)×42.8(D)mm (BP-303装着時、アンテナ除く)	
重量	約320g (BP-303装着時)	
運用可能時間	約25時間 (電波の強いエリアで使用)	約15時間 (送信出力1W) / 約13時間 (送信出力5W)
Bluetooth®関連	対応バージョン: Ver.4.2 送信出力: Class2 対応プロファイル: HFP, HSP	
通話互換	アイコムIPトランシーバーシリーズ	3R/3Bに対応したデジタル簡易無線機

付属品



オプション

バッテリー関連



充電器



充電器



マイクロホン/ヘッドセット



イヤホンジャックアダプター



イヤホン



イヤホン



ベルトクリップ



ハードケース



ショルダーストラップ



アイコム株式会社

国内営業部 〒135-0042 東京都江東区木場2丁目17-16 5F

TEL 03-6240-3549

高品質がテーマです。

製品の技術的なお問い合わせ

アイコムサポートセンター
(平日9:00~17:00)

フリーダイヤル ☎: 0120-156-313
携帯電話・PHS・公衆電話からは: 06-6792-4949

その他のお問い合わせは最寄りの営業所までご連絡ください。
最寄りの営業所はホームページでご確認ください。 www.icom.co.jp

株式会社 エフ・ティ・シー通信
福岡市東区名島4丁目8番26号
TEL(092)662-2721 FAX(092)662-3020
<http://www.ftctusin.co.jp/>

注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●定格・仕様・外観等は改良のために予告なく変更することがあります。 ●製品の色は印刷の関係上、実際のものと多少違うことがあります。 ●アイコム株式会社、アイコム、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。 ●Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。 ●イヤホン使用時は、音量には十分ご注意ください。